

地域医療確保対策特別委員会会議記録

地域医療確保対策特別委員長 小野 共

1 日時

平成 25 年 9 月 4 日（水曜日）

午前 10 時開会、午前 10 時 14 分散会

2 場所

第 3 委員会室

3 出席委員

小野共委員長、名須川晋副委員長、高橋元委員、軽石義則委員、千葉伝委員、嵯峨老朗委員、城内愛彦委員、伊藤勢至委員、及川あつし委員、小西和子委員、高田一郎委員、小野寺好委員

4 欠席委員

なし

5 事務局職員

小野寺担当書記、小田澤担当書記

6 説明のために出席した者

なし

7 一般傍聴者

なし

8 会議に付した事件

委員会の意見の取りまとめ

9 議事の内容

○**小野共委員長** ただいまから地域医療確保対策特別委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付いたしております日程により会議を行います。

委員会が、これまで調査して参りましたことについて、これまでの例によれば、9月の定例会で報告を行うこととなりますので、この際、意見の取りまとめを行いたいと思います。

お手元に、これまでの調査経過を取りまとめた資料と、報告の骨子案を配付いたしておりますが、取りまとめに当たり、2年間の感想も含めて、何か御意見はありませんか。

○**嵯峨老朗委員** 中身を取りまとめて議会で委員長報告するのですね。それでおしまいですか。

○**小野共委員長** 9月定例会で報告するものです。

○**嵯峨老朗委員** せっかく委員会調査の成果として出てきたので、正副委員長で医療局や保健福祉部にぜひ参考にしていただければと提案してはいかがでしょうか。

○**小野共委員長** 私と副委員長とで検討し、医療局とざっくばらんに意見交換などをしていきたいと思います。

○**千葉伝委員** 地域医療確保対策特別委員会について、委員長、副委員長は大変御苦勞だったとそういう思いでありますので、まずは労をねぎらいたいと思います。これと一緒に、今度の報告をまとめるということですが、いずれ骨子案の最後の方に委員会の意見として課題が出ているわけで、今後の医師確保あるいは医療政策全体にわたっての問題に対し、あくまで県に対する、あるいは国に対する強力な働きかけを行うということ、それから今後の医師を確保するためには修学資金を勘定しながら取り組んでいくということでありまますので、先ほど嵯峨委員が言ったとおり、この辺りはしっかりとこの委員会からの提言も含めて、私は出すべきだと思います。また、当委員会で長野県や群馬県に行きましたが、私の印象にあるのは、他の県でやっていて岩手県にはなかった、がん対策の分野ですね。今県議会の中で条例化に向けて動き出しているということは大きな成果だと思いますし、これを是非、当委員会から提言した形として盛り込むべきと私はそういう思いであります。あと、ドクターヘリ等について、これからは地域連携というか、他の県との連携が当然必要になってくるということでもあります。一方で、災害関係の沿岸地域の医療の確保は当然残っているのでありますけれども、大変多岐にわたって医療全体を調査してきたことをこういう形で取りまとめていただいたということでもあります。中身については特に文句はありませんので、以上申し上げます。

○**小野共委員長** 他に御意見等はありませんか。

○**嵯峨孝朗委員** がん対策条例につながっているところがありますよね。だから、そういうところも骨子案4の⑧に成果として盛り込んではいかがでしょうか。

○**小野共委員長** 確かに、がん対策推進条例の話も委員会の意見に成果として入れたほうがいいですね。他に意見等ありませんか。

○**伊藤勢至委員** 御苦勞さまでございます。被災地の県立病院——県立高田病院、県立大槌病院、県立山田病院はいずれも被災をしたままでおまして、その復旧は平成28年度という計画は示されているわけです。まちづくり計画もあつてのことと理解しておりますが、やはり地域医療の中核たる各県立病院の復旧が平成28年度と言わずに半年でもあるいは1カ月でも2カ月でも早まるように、そういうことをお願いする一行があつてもいいのではないかというのが被災地のみんなの気持ちだと思っております。平成28年度の整備計画を良とする、しないに関わらず、一日も早い復旧をお願いしたいという一行を加えていただければと思います。

○**小野共委員長** 事務局は、東日本大震災の被災病院の早期の復旧というのもこの取りまとめの中に確かに入れてください。

○**小野寺好委員** 地域医療確保、まさにこのタイトルのとおりなのですが、市町村の中でどうしても医者を確保できないということで、撤退せざるを得ないような診療所が増えてきた。この中で骨子案の委員会の意見②のあたりに書いてあるのですけれども、実

際、県の医療局や保健福祉部で、こういった市町村の診療所に対しての支援策などにしっかり取り組んでもらいたいという文言を付け加えていただければと思いました。

○小野共委員長 了解しました。他に意見等ありましたらお願いします。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員長 それでは、ただいまの御意見を参考にいたしまして、9月定例会の報告を行いたいと思います。そして、同時に、今の報告結果を踏まえて、県当局に取り組みられるよう報告させていただきたいと思います。詳細につきましては当職に御一任願います。

それでは、本委員会の調査でございますが、本日をもって最後になろうかと思っておりますので、この際、御挨拶申し上げます。当委員会は、一昨年の定例会におきまして地域医療確保対策特別委員会という形で、地域医療体制の整備、医師確保対策、そしてがん等難病対策を三本の柱にして9回の委員会調査、そして3回の現地調査をさせていただきました。皆様の御協力のもとに無事今日の日を迎えることができました。個人的に委員長という職責を全うさせていただきましたことによりまして、本当に貴重な体験をさせていただいたと思っております。この2年間の調査活動が、今後の私を含めて皆様の議会活動の参考になればと祈念いたしているところでおります。皆様の御協力によりまして、この2年間、無事に調査を終了させていただきました。皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。

〔拍手〕

○小野共委員長 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。本日はこれをもって散会いたします。お疲れさまでした。